

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公表番号】特表2014-521805(P2014-521805A)

【公表日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-046

【出願番号】特願2014-523982(P2014-523982)

【国際特許分類】

C 08 G 69/32 (2006.01)

【F I】

C 08 G 69/32

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI) 、 PPD、およびテレフタロイルジクロライドを含むポリマーであって、 IPCピーカブロック比が1.52～1.56であり、固有粘度が2dl/gより大きいポリマー。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

【表1】

	ピーク値	ピーク比
単独重合体(対照)	18.09分	入手不可
実施例1	27.94分	1.54
比較例	27.09分	1.50

本発明のまた別の態様は、以下のとおりであってもよい。

[1] 2 - (4 - アミノフェニル) - 5 (6) アミノベンズイミダゾール (DAPBI) 、 PPD、およびテレフタロイルジクロライドを含むポリマーであって、 IPCピーカブロック比が1.52～1.56であり、固有粘度が2dl/gより大きいポリマー。

[2] 固有粘度が4dl/g以上である、前記[1]に記載のポリマー。

[3] IPCピーカブロック比が1.53～1.55である、前記[1]または[2]に記載のポリマー。

[4] (i) N-メチル-2-ピロリドン (NMP) またはジメチルアセトアミド (DMAC) と (ii) 無機塩とを含む溶媒系に溶解することができ；前記溶媒系から取り出した後、前記溶媒系に再溶解することができる、前記[1]に記載のポリマー。

[5] 固有粘度が2dl/gより大きい、前記[4]に記載のポリマー。

[6] 固有粘度が4dl/g以上である、前記[5]に記載のポリマー。